



衣類をより気持ち良く着ていただくために、ご参考にして下さい。

☆ユニフォーム、体操着、ジャージ、上靴、スニーカー、帽子、靴下、手袋など幅広い泥汚れ落としに。

【泥スッキリ303・305・101・515】のご使用方法

10Lのお湯（40℃～43℃）に対して各泥スッキリ洗剤の下記分量に合わせて使用します。



【303 : 20g】



【305 : 各10g】



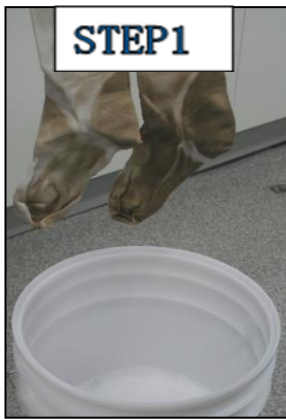
【101 : 15g】



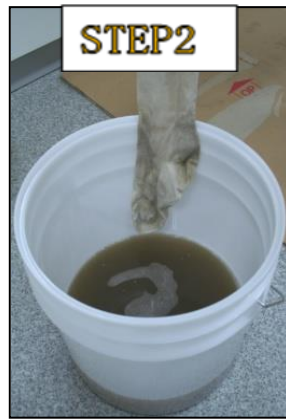
【515 : 15g】

簡単3ステップ で スッキリ・キレイ な仕上がり

- STEP 1 :** 衣類に付いた泥、砂などを簡単にはらい落とします。
- STEP 2 :** 「泥スッキリ洗い」の【A～C+D】を行います。
- STEP 3 :** 洗濯機を使って普段通りのお洗濯をします。



泥・砂をはらった状態



泥スッキリ洗い後

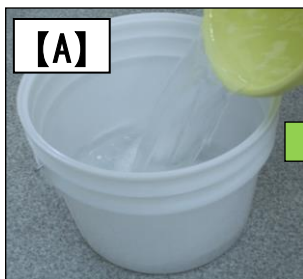


洗濯機使用后

「泥スッキリ洗い」

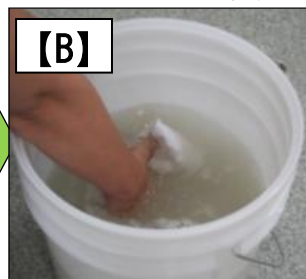
※【A～C】の順番で行います。汚れがひどい場合、【D】を行うと効果的です。

※スッキリバケツ（別売り）を使用すると10L目盛もあるのでお勧めです。



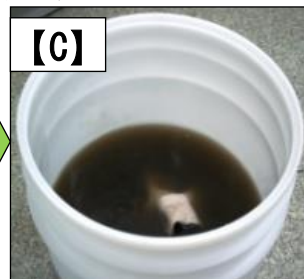
「お湯（40℃～43℃）」

バケツにお湯10L（40℃～43℃）と洗剤を各分量を入れ良くとかします。薄いポリエステル生地の場合は、30～35℃がおすすめです。



「もむ」

洗剤液の中に衣類を入れます。衣類に洗剤を良くしみこませるため、軽くこするようにもんで、つけ置きをします。★コツ2参照



「つける」

「つけ置き（30分～1時間ほど）後、衣類をもみこんで汚れを出して下さい。」★コツ4と5参照



「こする」

※汚れがひどい場合「汚れスッキリねっと（別売り）」でつけ置き後、布の目にそって軽くこすって汚れを落とします。★コツ3参照

※裏面のお洗濯の「コツ」へつづく。



【 お洗濯 の 「コツ」 】



コツ1

STEP 1での、泥・砂を落とす場合は、シャワーを斜めに向け、水圧で落とす方法が効果的。
※衣類に対し直角はやめてね。



コツ2



あ〜最高...

汚れがひどい場合は、つけ込み時やつけ込み後にもみ洗いを行ってください。
より効果的な汚れ落ちにつながります。
(マッサージで少し体重を乗せる様な感じで。。。)



コツ3

汚れスッカリねっとが無い場合、毛先の柔らかい歯ブラシ・タワシで軽く生地目をなぞるように使用することをお勧めします。
※毛先が堅いのは生地を傷めるのでダメですよ！



ふわふわ〜やわらか〜
やさしく〜



コツ4



洗濯機使用の際、つけ置き液があまりに汚れてしまっている場合、つけ置き液をそのまま洗濯機へ使用する事は、避けてください。
新しく洗剤液を作り、浸け置きした上でご使用ください。
(洗濯機への砂や土の侵入、蓄積、再汚染を防ぐ為。)
※左図のような液体の色であれば、そのまま洗濯機で利用できます。

コツ5

洗濯物やつけ置き液の汚れがひどい場合。
洗剂量・つけ置き時間(1時間〜1晩)・洗濯回数を増やすや、温度など調節して下さい。
または、新しい液を使用して下さい。
注意：水道水と比べ風呂の残り湯は、皮脂汚れ等が含まれますので洗浄効果の低下の原因になります。
※ご注意④



【ご注意】

- ①各衣類の洗濯表示を確認の上、ご使用ください。
※温度が高いと汚れ落ちには効果的ですが、色落ちや生地のシワやちぢみを起こす場合がございます。
- ②柔軟剤を使用した衣類を洗濯する場合、生地表面に柔軟剤が付着している状態のため、汚れが取れにくくなる場合がございます。
- ③古いシミや古い汚れは、取る事が難しいです。しかし、「回数を重ねるごとに改善された」というお声は、多くいただいております。方法については、「泥スッカリ洗い【B】」にて、対象部分をていねいにこすり洗いをしていただくと効果的です。
- ④汚れが激しいと洗剤やすすぎの水などが、汚れに負けて残ってしまう場合(シミ：逆汚染)があります。そんな時は、少し多めに洗剤・すすぎの水・洗濯回数を調整していただく事をおすすめします。また、残ってしまった場合、漂白剤や他の洗剤を使用せず、泥スッカリのみでのお洗濯をおすすめします。※あくまでも漂白剤は、色素を分解するものであり、汚れを洗浄するものではありません。汚れが残った状態で漂白剤を使用すると、汚れが酸化して逆に取れにくくなる場合がございます。白さを上げるために漂白剤を使用する場合、汚れを良く洗剤で落とすうえで、ご使用いただく事をおすすめします。